

# 仕合わせ

# の和

第213号

令和元年. 12. 1  
(毎月1日発行)

二千ヶ寺参りを

目指して

住職 谷川寛俊

先月6日(水)、午後から真成寺に於いて、全国の日蓮宗を二千ヶ寺参りを目指している平山徹さん(五十九歳・茨城県水戸市出身・読売新聞社現役記者)の講演会を開催しました。

月三回発行している日蓮宗新聞の記事に十年間連載中の「千ヶ寺参りに行こう」を執筆中。お話しによると、友人とある場所に取材に行ったところ、某神社で御朱印を出して何かを書いてもらっているのを見て「それ何?と尋ねたところ、「神社仏閣にお参りした記念に印を押してもらっているのだよ」と。それを見て、当初は「ふーん、そんなものがあるんだ」と、特に気にも掛けなかったそうです。ところが、たまたま取材で千葉県の大本山誕生寺(日蓮聖人ご誕生の霊場)に行った時、御朱印の

美しさに惹かれ、そういえば自分の家の宗旨も日蓮宗だった事も後押しされたのか、これも何かのご縁と思いい、初めての御朱印を頂いたのが、そもそも千ヶ寺参りの始まりだったそうです。以下はご本人のご挨拶文を参考までに掲載させていただきます。

「古くから四国遍路、西国、坂東観音霊場めぐり、様々な聖地巡礼など、信仰、観光を目的とした神社仏閣巡りが行われてきました。近年は、「自分ががし」や、「パワースポット」がブームとなり、「御朱印ガール」の言葉も聞かれるなど、多様な世代や女性の新しい感覚でのお参りも盛んです。人により目的や動機は色々異なると思いますが、私は平成十八(2006)年5月5日から、休日を利用して「法華霊場千ヶ参り」を続けています。法華信仰の道場を文字通り千ヶ寺参拝し、御朱印をいただくものです。千ヶ寺参りは、江戸時代半ばから昭和の初めまで民衆の間で盛んに行われましたが、戦後価値観やレジャーが多様化する中、ほとんど

真成寺ホームページ

<https://bit.ly/2Gz55Mz>

編集・発行  
玉蓮山 真成寺  
編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523  
こちらの番号でも  
お寺につながります。

途絶えてしまいました。私はふとしたことから千ヶ寺参りを始め、平成二十二(2010)年7月に成就(達成)し、現在二千ヶ寺参りを目指しています。これまで1900あまりの御朱印を頂戴し、お寺のご住職や、ご家族、旅先で出会った人達と触れ合う中で、たくさんのお話を学びました。それらは、私にとって掛け替えのない体験になっています。(以下省略)と。

当日、平山徹さんが真成寺に到着されるや本堂にて大きな声で、方便品・自我偈そして、団扇太鼓(うちわだいこ)を打ってのお題目(唱題行)、朗々としたその声は、さすがに全国二千ヶ寺近くを巡り、色んなご苦労を体験された者にしか得られない尊いものを感じさせられました。平山徹さんの無事二千ヶ寺達成を心から祈らずにはおられません。



尚、日蓮宗では、御朱印(帳)でも間違いではありませんが、正確には「御首題(帳)」と呼ぶのが正しい呼び方です。ご参考までに。